総社のニュースがわかる
そうじゃ！広報紙を読もう！
子どもの広報そうじゃ
第1号
子育て王国そうじゃマスコットキャラクターチュッピー
発行／総社市　編集／企画課広報広聴係　〒719－1192　中央1－1－1　☎92－8214　FAX 92－8216

みんな知ってる？「子育て王国そうじゃ」

まちでよく見かけるチュッピーや「子育て王国そうじゃ」。みんな知っていますか？知らなきゃ損する！？さあ　調べよう！

みんなよろしく／子どもの広報そうじゃ登場人物

すべての子どもの幸せのために、お互いに助け合う

総社市は、親が安心して子どもを産んで育てられるように取り組んでいます。まず、子どもが生まれると「こんにちは赤ちゃん事業」📖で子育ての相談ができます。「つどいの広場」📖では、小さい子どもと親がいつでも遊べます。また、親が働いている子どもは「放課後児童クラブ」で宿題をしたり友達と遊んだりできるので親も安心です。昨年11月の湯郷ベルのサッカー教室など楽しいイベントも開いています。

総社市は子育てしやすいまちにしようと、子どもが生まれてから育つまでいろんな支援をしています。

毎月第３日曜日は「そうじゃ家族の日」
家族のきずなを深める日です

子どもにとって一番の心のよりどころとなるのが家族。暮らしのなかで、家族で語り合って過ごしながら「家族のきずな」を大切にしましょう。特に毎月第３日曜日の「そうじゃ家族の日」は家族といっしょに過ごしましょう。

注目　チュッピー

「子育て王国そうじゃ」のマスコット。岡山県立大学の学生がデザインしました。宝福寺のねずみの「チュー」と幸せの「ハッピー」が名前の由来。5才。男の子か女の子かは不明。

なでしこが総社にやってきた！

まち全体で子どもを見守り、育てていくため**「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会**があります。この実行委員会はみんなが楽しめるイベントをたくさん計画しています。

ミニメモ

●こんにちは赤ちゃん事業
生まれて４か月までの赤ちゃんがいる全ての家に市役所の職員が訪れて、子育ての相談をします。

●つどいの広場
子どもを育てる親が交流できる場所。きよね夢てらす、天満屋ハピータウンリブ総社店、山手保健センター、岡山県立大学にあり、スタッフがいつもいて子どもが遊べる遊具も置いています。

子ども議会の議員たち

子ども議会で子どもの意見を発表

子どもが、家族や地域から愛され、すこやかに育っていくために「子ども条例※」がつくられました。

この条例に基づいて、子どもの意見や願いを大切にし、市の取り組みにいかしていこうと「子ども議会※」を開さい。防災週間の制定や環境や高れい者の問題など４中学校の代表17人が自分の意見を発表しました。

このほかにも「子ども条例」では、子どもは自然やいろんな文化にふれたり、危ないことから守られたり、自分らしく生きることができると約束されています。

※条例……市が決める法律、ルール
※議会……市のルールや大事なことを決める場所

家族や地域がお互いに助け合い、支え合って、すべての子どもの笑顔のために、たくさんの人が一生懸命取り組んでいるのが**「子育て王国そうじゃ」**。これからも、子どもたちのためにがんばります。

みんなのページ

ここではみんなの学校のことをしょうかいします

総社東中学校

人権期間
オレンジリボンキャンペーン

●人権を真けんに考える

東中生徒会では、年に２回人権期間を決めてさまざまな取り組みをしています。まず、全校での人権集会の開さいです。過去に生徒がいじめが原因で自ら命を絶つという悲しいことがありました。二度とこのようなことがないようにという願いと決意をもって行っています。先ぱいが願いをこめてつくった「人権の詩」という歌を今でも歌いつぎ、集会などの機会があるごとに歌っています。

全校集会で「人権の詩」を歌う

●笑顔あふれる学校に

また、「オレンジリボンキャンペーン」を行っています。もともとは子どものぎゃくたい防止を呼びかけるリボンですが、生徒がおたがいの人権を守る気持ちの証として、名札への着用を呼びかけています。「あいさつ運動」や「ありがとうキャンペーン」などを行い、笑顔があふれる学校にしようと取り組みました。

このような願いや伝統がいつまでも後はいに引きつがれ、いじめの無い学校になってほしいと願っています。

総社西中学校

西中の体育会はここが違う
熱気あふれる合唱集会

●さけぶ校歌

あつい体育会が９月13日に開かれました。３年生にとっては最後の体育会。夏休み明けの暑いなか毎日練習に取り組みました。各クラス優勝目指して団結し、よりクラスのきずなが深まりました。そして、西中の体育会といえば、閉会式に全校生徒で歌う伝統の校歌。「歌う」というより、とにかく声がかれるほどさけぶ、さけぶ、さけぶ。体育会のクライマックスに歌うこの校歌の後、会場は感動に包まれます。

体育会の閉会式

●ひびけみんなの歌

体育会に次ぐ西中名物の合唱集会が10月26日に開さいされました。早いクラスは７時30分から朝練をし、放課後も毎日歌い続けました。ときにはうまくいかず、なみだを流すこともありましたが集会は大成功。３年生全員で歌う学年合唱「島人ぬ宝」、全校合唱「大地讃頌」を歌い終えた体育館は熱気があふれ、あせを流している人もいました。金賞をとったクラスも、とれなかったクラスも最高の思い出になりました。

総社中学校

総中応援仕隊
表彰された生徒会

●地域みんなで学校をきれいに

総中には、「総中応援仕隊」といって生徒、保護者、先生、体育館を使う地域の人などがいっしょになってそうじをする活動があります。みんなで協力してそうじしていくと、どんどんきれいになり、達成感がわいてきます。地域の人と話もでき、交流が深まります。これからも、この活動を続けて地域とのつながりを強くし、地域から愛される学校を目指していきたいです。

●学校を盛り上げる生徒会

総中は生徒会活動が盛んです。なかでも、あいさつができる学校を目指して週２回あいさつ運動を行っています。しだいにあいさつの輪が広がり明るい学校になってきました。また、今年の文化祭（総中祭）ではメッセージ性のある劇を届けたいと考え、"勉強"をテーマにした自作の劇を上演。みんなに喜んでもらえてうれしかったです。生徒会は、このような学校生活を盛り上げようとがんばった活動が認められ、総社警察署から善行少年表彰を受けました。

あいさつ運動をする生徒会

昭和中学校

ちょボラｔｉｍｅ
メダリスト清水聡選手

●ちょっとボランティア

昭和中では、毎年「ちょボラｔｉｍｅ」という活動を行っています。「ちょボラｔｉｍｅ」とは、ちょっとしたボランティアを行う時間。生徒会専門委員会ごとのグループに分かれて活動します。中学校周辺や通学路などのごみを拾って学校で選別。自分たちでごみを拾うことで、きれいな自然環境の大切さについてしっかり学ぶことができます。また、自分たちのまちを自分たちでステキなまちにできるといううれしさや楽しさも学んでいます。

●私たちの誇り清水聡選手

昨年７月に行われたロンドンオリンピックのボクシングバンタム級に、昭和中出身の清水聡選手が出場し、見事に銅メダルをかく得しました。昭和中でもがいせんパレードが行われ、話を聞いたり、銅メダルにさわらせてもらったりしました。また、総社市役所前のセレモニーでは、清水選手といっしょに校歌を歌いました。オリンピックのメダリストが私たち昭和中の出身だということに誇りをもっています。

メダリスト清水聡選手と記念さつえい

PRINTED WITH SOY INK 再生紙を使っています。